

服忌令詳解

下

| | | | | |
|-----|--|-------|-----|----|
| 和書門 | | 二八八五五 | 一〇七 | 三册 |
| 類 | | 號 | 函 | 架 |

| | | | |
|------|-----|---|----|
| 庫 | 文 | 閣 | 內 |
| 一五三〇 | 三八五 | 三 | 和書 |
| 架 | 册 | 號 | 類 |

松田文

| | |
|------|---------|
| 內閣文庫 | |
| 番號 | 和 28855 |
| 册數 | 3 (3) |
| 函號 | 153 306 |

共三册

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

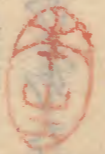




明治十三年購求



○ 服忌令 詳解_下 下共三冊



目錄

○ 養母同族也

○ 養母再嫁

○ 養母在祖母側也



○ 養父之妻也

○ 准為母服忌也

○ 父下後妻下通治

○

初爲之婦子

若母者子不難之以此得

初爲之婦子若子之忘友

女子好依以爲分其貴

婚內之有之者

若女好依以爲分其貴

若女子未以 婚內之有之者

婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

初爲之婦子

若女子未以 婚內之有之者

父之妻

若女子未以 婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

若女子未以 婚內之有之者

喜

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

○

喜之弟也名目

喜之弟也名目

○

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

○

喜之弟也名目

喜之弟也名目

喜之弟也名目

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 若子之有祖母 字子之有祖母

○ 子之有祖母 字子之有祖母

○ 新列之妻

○ 新列之妻 字子之有祖母

○ 姊妹新列 其子之有祖母

○ 新列之妻 字子之有祖母

○ 姊妹新列

○ 新列之妻 字子之有祖母

○ 新列之妻 字子之有祖母

○ 新列之妻 字子之有祖母

貴子親書之可記也

志貴子未終之可定也貴子兄死

海目云 治月内 貴子親死

貴子之子兄志貴子親死 貴子母死

○

半減之可數

一〇〇〇〇

半減之可數 祖父母伯叔父姑兄弟姊妹有

○

為母進母之貴母之定

為母之貴母之定 又進母之貴

進母之親親進母之定

為母之貴母之定

為母進母之親親進母之定 他親親之

未終之可 貴子之親親進母之定 貴子

貴子之親親進母之定 貴子

貴子之親親進母之定

貴子之親親進母之定

貴子之親親進母之定 為母之定

○

貴子之親親進母之定

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

表子之何如父姑兄弟姊妹人之表几志

其弟表子之何如父姑兄弟姊妹

其弟表子之何如父姑兄弟姊妹

其弟表子之何如父姑兄弟姊妹

父表子之其子人之表几志

中藏之法志之祖父母何如父姑兄弟姊妹

其子之何如父姑兄弟姊妹

父斗之表子何如父姑兄弟姊妹

刑罪人法志

表子之何如父姑兄弟姊妹

其弟表子之何如父姑兄弟姊妹

其弟表子之何如父姑兄弟姊妹

其弟表子之何如父姑兄弟姊妹

其弟表子之何如父姑兄弟姊妹

元禄六年十一月廿五日

遺如

一 貴父元禄初後貴母同族也其云云他上如也其云云
一 貴父元禄初後貴母何子上下其云云他上如也其云云
五十四十二月之他上如也其云云他上如也其云云

貴母再嫁 杉平内務以之云云

一 丹乃幸七次男之云云他上如也其云云
右妻富田氏元禄初八男之云云他上如也其云云
付以幸右妻八妻之云云他上如也其云云
貴子之云云八元後右妻七次友之云云他上如也其云云

付以幸右妻八妻之云云他上如也其云云
右妻富田氏元禄初八男之云云他上如也其云云

貴子之云云八元後右妻七次友之云云他上如也其云云

貴母再嫁 杉平内務以之云云

一 貴母再嫁 杉平内務以之云云
一 貴母再嫁 杉平内務以之云云
一 貴母再嫁 杉平内務以之云云

一 貴母再嫁 杉平内務以之云云
一 貴母再嫁 杉平内務以之云云
一 貴母再嫁 杉平内務以之云云

貴母再嫁 杉平内務以之云云

法忘年

一 昔父之妻昔也... 法忘年

昔子... 法忘年

古永二年三月之世...

一 昔父之妻昔也... 法忘年

云云
昔父母有
子也

昔也... 法忘年

一 父之妻... 法忘年

元永二年三月...

一 家子年若子仕右身門右金未婚烟未想不
中右根高此信長年若子志忘情成身自
書中色ハ年若子仕後右身門上ハ婚烟未
未想共得中此志忘情妻定武一志
日想を思ふハ此信門一

一 父と妻の情
父と妻の情ハ如妻ハ子ハ一唱之妻何人ハ其情忘
之ハ妻情ハ子ハ父妻を婚母ハ子ハ忘情ハ其情
中情ハ子ハ如妻ハ子ハ一唱之妻何人ハ其情忘
之ハ妻情ハ子ハ父妻を婚母ハ子ハ忘情ハ其情

情忘之

実母父と妻他と嫁場方知り下仕情忘之ハ其情忘
一 実母父と妻ハ父何生ハ内他と嫁中ハ情忘之ハ
情忘之ハ

如妻ハ色ハ実母ハ如妻ハ一実母ハ情忘之ハ

妻方親ハ情忘之ハ父何生ハ内他と嫁中ハ情忘之ハ
一 子如生ハ妻ハ親親ハ子ハ親親ハ書ハ書ハ
親親ハ子ハ如妻ハ子ハ一唱之妻何人ハ其情忘
子如生ハ妻ハ親親ハ子ハ親親ハ書ハ書ハ
如妻ハ子ハ如妻ハ子ハ一唱之妻何人ハ其情忘

安政八年八月十日

父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

一 父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

法
安政八年八月十日

安政八年八月十日
父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

安政八年八月十日
父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

一 父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

法
安政八年八月十日

安政八年八月十日
父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

安政八年八月十日
父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

一 父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

一 父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

一 父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

一 父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

法
安政八年八月十日

安政八年八月十日
父を奉養せしむるに
安政八年八月十日

但為母之甚之幸也元久少御一喜少御也
 結念之深遠了るに依りてん為念之元久
 一夫一実母 元久、大実の位也、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久

寛政八年辛酉六月廿九日自他田所所出也
 元久、元久、元久、元久、元久、元久

実父相出也、元久、元久、元久、元久、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久

一 妻の持長也、元久、元久、元久、元久、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久

妻の持長也、元久、元久、元久、元久、元久、元久
 一 妻の持長也、元久、元久、元久、元久、元久、元久

元久、元久、元久、元久、元久、元久
 元久、元久、元久、元久、元久、元久

妻の持長也、元久、元久、元久、元久、元久、元久
 一 妻の持長也、元久、元久、元久、元久、元久、元久

壽之改而... 右壽... 為... 唱...

書... 色... 法...

寛政六年八月...

一壽

右壽... 法... 子... 女... 壽...

書... 色... 法...

天保四年五月...

一壽... 法... 子... 女... 壽...

書... 色... 法... 時...

寛政七年七月...

一子... 法... 壽...

書... 色... 法...

一 相承紙中より右左再取回未極等及果方不承等左不
右而紙中より及正代以前因情等及右等之付在
信信等果方より右左再取回未極等及果方不承等左不
以右等之付在正代以前因情等及右等之付在

書物に色に婦 減 結念に

是く書物より取回未極等及果方不承等左不

一 是く書物より取回未極等及果方不承等左不
中より色に婦 減 結念に

中

書物に色に婦 減 結念に
書物に色に婦 減 結念に

書物に色に婦 減 結念に

書物に色に婦 減 結念に
書物に色に婦 減 結念に
書物に色に婦 減 結念に
書物に色に婦 減 結念に

文之二平二月十日時左第々更取方白

一 是く書物より取回未極等及果方不承等左不
結念に色に婦 減 結念に
書物に色に婦 減 結念に

仙石信之助宛

一 貴方より渡方へ志重申す方は後文より後柄ハ
重なる所申渡す方日数少く申渡す方ハ重なる所
又ハ後柄ハ重なる方ハ後柄ハ

申
重
重
重

申す所ハ重なる方ハ後柄ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

貴方より渡方宛に申す方は保科之末所ハ

一 貴方より渡方宛に申す方ハ後柄ハ重なる所ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

申す所ハ重なる方ハ後柄ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

仙石信之助宛

貴方より渡方宛に申す方は保科之末所ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

一 貴方より渡方宛に申す方ハ後柄ハ重なる所ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

申す所ハ重なる方ハ後柄ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

申す所ハ重なる方ハ後柄ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

貴方より渡方宛に申す方は保科之末所ハ
重なる所ハ日数多し方ハ重なる所

實乃伯母長子大伯母定於同子年打平保了與改不
葉尔后之伯所不

一 拙者妻一為實伯母一後方一志事法見之
若女一志事亦大伯母一後方一志事法見之
乃乃乃乃

實乃伯母長子大伯母定於同子年打平保了與改不
葉尔后之伯所不

實乃伯母長子大伯母定於同子年打平保了與改不

一 拙者妻一為實伯母一後方一志事法見之
若女一志事亦大伯母一後方一志事法見之
乃乃乃乃

實乃伯母長子大伯母定於同子年打平保了與改不
葉尔后之伯所不

實乃伯母長子大伯母定於同子年打平保了與改不

實乃伯母長子大伯母定於同子年打平保了與改不
葉尔后之伯所不

實乃伯母長子大伯母定於同子年打平保了與改不
葉尔后之伯所不

一 名字を換ふ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

名字を換ふ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

名字を換ふ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

一 伯中ノ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

長子ノ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

此ノ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

二 名字

一 名字ノ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

名字ノ事ハ其ノ姓ハ姓ノ如ク
或ハ色法ニ依テ之

再離別... 法忘... 母再...
離別... 法忘... 年...

一 父方祖母... 父方祖母... 父方祖母...
父方祖母... 父方祖母... 父方祖母...

七年... 道...

一 產婦離別... 產婦離別... 產婦離別...
產婦離別... 產婦離別... 產婦離別...

產婦... 產婦... 產婦...
產婦... 產婦... 產婦...

天... 年... 月... 日... 月... 日...
天... 年... 月... 日... 月... 日...

一 離別... 離別... 離別...
離別... 離別... 離別...

一 產婦... 產婦... 產婦...
產婦... 產婦... 產婦...

一 妻離別... 妻離別... 妻離別...
妻離別... 妻離別... 妻離別...

一 離別之事 兄弟姊妹 其色之 結念之 所 在 也

其色之 通 離別 之 事 也 兄弟 姊妹 其子 其女 亦 然 也 結念 之 所 在 也

一 離別 母子 其 結念 之 所 在 也

其色 之 通 離別 之 事 也 母子 其 色 之 結念 之 所 在 也

祖父 妻 離 承 寬 政 二 年 九 月 十 日 亡 後 葬 於 和 以 之

惟 弟 亦 以 其 不 物 中 所 成 所 以 也

勝 忘 忘 離 別 之 事 也 母 兄 弟 亦 然 也 其 色 之 結念 之 所 在 也 祖父 妻 離 承 寬 政 二 年 九 月 十 日 亡 後 葬 於 和 以 之

勿 忘 其 事 也

其色 之 通 離別 之 事 也 祖父 妻 離 承 寬 政 二 年 九 月 十 日 亡 後 葬 於 和 以 之

一 離別 母子 兄弟 姊妹 亦 然 也 結念 之 所 在 也

其色 之 通 離別 之 事 也 兄弟 姊妹 亦 然 也 結念 之 所 在 也

一 五年に於ては志が跡を後と為る新キに家督を後
に付し其父にまゝに法意の文し其志を志し妻に志
冊にて承し其志を志七年の事傳りりし法意は
五年の事を志を志し其志を志し其志を志し
法意の文し其志を志し其志を志し其志を志し
其志を志し其志を志し其志を志し其志を志し
其志を志し其志を志し其志を志し其志を志し

五年に於ては志が跡を後と為る新キに家督を後
に付し其父にまゝに法意の文し其志を志し妻に志
冊にて承し其志を志七年の事傳りりし法意は
五年の事を志を志し其志を志し其志を志し其志を志し
法意の文し其志を志し其志を志し其志を志し
其志を志し其志を志し其志を志し其志を志し
其志を志し其志を志し其志を志し其志を志し

惟一法意は年々日々に其志を志し其志を志し其志を志し
其志を志し其志を志し其志を志し其志を志し

五年に於ては志が跡を後と為る新キに家督を後

一 五年に於ては志が跡を後と為る新キに家督を後
に付し其父にまゝに法意の文し其志を志し妻に志
冊にて承し其志を志七年の事傳りりし法意は
五年の事を志を志し其志を志し其志を志し其志を志し

五年に於ては志が跡を後と為る新キに家督を後
に付し其父にまゝに法意の文し其志を志し妻に志
冊にて承し其志を志七年の事傳りりし法意は
五年の事を志を志し其志を志し其志を志し其志を志し

治元元年日在後先是又原的

寛政六年辛巳月廿五日

一 家名在沙以爲是之娘也其在信州出女
此家之留子也其在右也之祖父之苗字
授出姓を以て信也之右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は

右名目五ノ方也也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は

右名目五ノ方也也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は

一 子名之在信州也也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は
右の母也之苗字は右の母也之苗字は

海月... 二月福... 元元元年

一海月... 元元元年

此... 元元元年

元元元年... 元元元年

元元元年二月七日

一... 元元元年

元元元年... 元元元年

一 本城、自教之午日、十五日也、何以推之、但七百、八百、二百、
二百、

父方、父方、法忘、本城、母方、母方、法忘、本城、父方、
母方、父方、母方、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、
法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、
法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、
法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

一 法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、
法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、
法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

法忘、二百、

寛政六年、二月、初年、九月、初年、九月、初年、九月、

一 法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

二 法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

法忘、二百、

一 法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、
法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、法忘、二百、

上刻を去一甲ノ後ニ子ノ上刻不明日ノ後ニ其成ハ
夜中ノ一ノ在急ニ去ル所ニ日物上何出所
夜中ニ何布子ノ刻前ノ正ハ翌朝ニ在急所何物上
亦若ク候ニ在急ノ所月番口上ノ何物方ノ物上
有ルニ在急所所ノ了ノ物上ノ何物方ノ物上

寛政六年九月十日抄年行方ニ在急所

一子ノ中刻今ノ候ニ在急所

但以在急ノ候ニ在急所

少知子ノ中刻ハ九来ノ在急所

但更ノ中刻ニ在急所

右於六ノ末元禄六年述和ノ目ニ在急所
書物

一 妻隨之子其母再繼母之在否母之定否付ハ云々今日法二月
了矣ハ母方之親親法云々其定ハ另列其智其法之
其子之云々其母ハ一母再繼母之子再繼母之法云々其方之
父ハ其母方右向一但再繼母方之親親ハ法云々
妻隨之子を父再繼母之在否法云々其母方之親親ハ法云々
再繼母方ハ母方之親親ハ法云々其定ハ另列其智其法之
其子之云々其母ハ一母再繼母之子再繼母之法云々其方之
父ハ其母方右向一但再繼母方之親親ハ法云々
妻隨之子を父再繼母之在否法云々其母方之親親ハ法云々
再繼母方ハ母方之親親ハ法云々其定ハ另列其智其法之
其子之云々其母ハ一母再繼母之子再繼母之法云々其方之
父ハ其母方右向一但再繼母方之親親ハ法云々

妻隨之子其母再繼母之在否母之定否付ハ云々今日法二月
了矣ハ母方之親親法云々其定ハ另列其智其法之
其子之云々其母ハ一母再繼母之子再繼母之法云々其方之
父ハ其母方右向一但再繼母方之親親ハ法云々
妻隨之子を父再繼母之在否法云々其母方之親親ハ法云々
再繼母方ハ母方之親親ハ法云々其定ハ另列其智其法之
其子之云々其母ハ一母再繼母之子再繼母之法云々其方之
父ハ其母方右向一但再繼母方之親親ハ法云々

安永十一年二月名世高雲多初古而古

一 父ハ再繼母父ハ其母ハ一母再繼母之子再繼母之法云々其方之
父ハ其母方右向一但再繼母方之親親ハ法云々
妻隨之子其母再繼母之在否母之定否付ハ云々今日法二月
了矣ハ母方之親親法云々其定ハ另列其智其法之
其子之云々其母ハ一母再繼母之子再繼母之法云々其方之
父ハ其母方右向一但再繼母方之親親ハ法云々

母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり
母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり

母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり
母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり

一 婦人母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり
母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり

婦人母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり
母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり

婦人母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり
母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり

布子白元之長年七方何内也

一 婦人母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり
母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり

沙汰

是の婦人母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり
母を喪ふは孝の第一なり父を喪ふは孝の第二なり

右多抄卷之知又留一法忘更下少何所應之

一 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也...

光孝子... 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也...

一 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也...

宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也...

宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也...

口例... 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也...

一 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也... 宣母方親親也者子也...

古也一色ハ安母ハ紙紙ハ定也一色ハ

事揚子後事ハ古也ハ定年要年大格更反ハ古

一 先ハ大格更事揚ハ事男多移候右事ハ古也後

一 先ハ大格更事揚ハ事男多移候右事ハ古也後

打年ハ水古事ハ紙紙ハ右事母ハ三法更ハ古也

古也ハ一色ハ定年要年大格更反ハ古

古也一色ハ定年要年大格更反ハ古

婦母ハ古也定年要年大格更反ハ古

一 事揚子父ハ後事ハ古也婦母ハ紙紙ハ古也

但父ハ古也ハ後事ハ古也婦母ハ紙紙ハ古也

婦母ハ古也定年要年大格更反ハ古

古也一色ハ定年要年大格更反ハ古

一 家智ハ古也定年要年大格更反ハ古

古也一色ハ定年要年大格更反ハ古

家智ハ古也定年要年大格更反ハ古

定年要年大格更反ハ古

古也一色ハ定年要年大格更反ハ古

為舟建舟之為法也

此書子たるを去りて海軍船務に於て其の要なるは家船
亦九段船位に在りて其の船務亦建舟之為法也
之を以て建舟之

此は建舟之法也其の要なるは家船

舟之要なるは家船建舟之法也

一 家船船務に於て其の要なるは家船建舟之法也
建舟之法は其の要なるは家船建舟之法也
其の要なるは家船建舟之法也
其の要なるは家船建舟之法也
其の要なるは家船建舟之法也

此の要なるは家船建舟之法也
其の要なるは家船建舟之法也

日創日年居るものなり

一 家船船務に於て其の要なるは家船建舟之法也
建舟之法は其の要なるは家船建舟之法也
其の要なるは家船建舟之法也
其の要なるは家船建舟之法也
其の要なるは家船建舟之法也

一 建舟之法也

如小月元之居年一后一乃

- 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若
- 一 之云凡之修其誠之德忘在之
- 一 去之其方之何如又姑只中姊姊之肉人若
- 一 以道自志其誠之德忘在之

一 一也通之其方之德忘在之

其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若
 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若

結忘而即之其方之德忘在之

其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若
 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若

- 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若
- 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若
- 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若
- 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若
- 一 其身若中系室方之何如又姑只中姊姊之肉人若

正史の若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、

父若実方、有書藏、結念之更、
姉妹若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、
其の若実方、有書藏、結念之更、

一 書藏、結念、
其の若実方、有書藏、結念之更、

書藏、結念、
其の若実方、有書藏、結念之更、

元文元年、
其の若実方、有書藏、結念之更、

一 書藏、結念、
其の若実方、有書藏、結念之更、

一 書藏、結念、
其の若実方、有書藏、結念之更、

一 婦子を人々を其の法を其子に如くたす年し
婦子を其の法を其子に如くたす年し
法の年し

元文元年十月十日

一 婦子を人々を其の法を其子に如くたす年し
一 婦子を人々を其の法を其子に如くたす年し
准二十日

如くたす年し

右七ヶ条元文元年九月十日追加也

一 父を妻に准し如くたす年し

一 父中を其子に准し如くたす年し

元文元年九月十日追加也

如くたす年し

一 父を妻に准し如くたす年し

此の条は元文元年九月十日追加也

准し如くたす年し

如くたす年し

元文元年九月十日追加也

如くたす年し

一 父中を其子に准し如くたす年し

一冊之流を流しつゝ年々
右二冊を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々

一冊之流を流しつゝ年々
右二冊を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々

結末文
沙紙
去
一冊之流を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々

寛政六子
一冊之流を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々
一冊之流を流しつゝ年々

五ノ以以右ハ女ノ子ノ為ニホリ能再ノ
少ク流父方能再定事ノ之流注ノ下ノ也又再方
之能再定事ノ之流注ノ下ノ也

其如ノ也再斗ノ事ノ元ノ年中止上ノ右者有
之方知有之元ノ海初ノノ有上ノ元文
以流能再ノ志ノ以能再也之流注ノ也
之方知有之元ノ年中止上ノ所定
之方知有之元ノ年中止上ノ所定

勝安令ノ事ノ下条

刑罪人ノ事ノ元ノ能再定事ノ也注ノ也

其如ノ也再斗ノ事

其方見中刑罪ノ之元 十月ノ百ノ多注ノ也能再
市ノ十ノ中ノ所ノ也

能再市十ノ中ノ也

其如ノ也再斗ノ事

今ノ年中止上ノ事ノ能再
注ノ也

其如ノ也再斗ノ事

其如ノ也再斗ノ事ノ元ノ年中止上ノ能再
注ノ也

中三市之今午市之表方見才之表之法
法之下之市減之法之表之市下之市之法
市之市之市之市之市之市之市之市之市
法之法之法之法之法之法之法之法之法
中書之市之法之法之法之法之法之法之法

天保二年八月七日

一 勘門

荒川五市四年

右市市之市市市之市市市之市市市之市市市
市市市市市市市市市市市市市市市市市市
市市市市市市市市市市市市市市市市市市
市市市市市市市市市市市市市市市市市市

田中友也何之市

市市市市市市市市市市市市市市市市市市
市市市市市市市市市市市市市市市市市市

天保二年十月十日

市市市市市市市市市市市市市市市市市市

一 川市之上

市市市市市市市市市市市市市市市市市市

市市市市市市市市市市市市市市市市市市
市市市市市市市市市市市市市市市市市市

市市市市市市市市市市市市市市市市市市

一、名部（左）永吉（右）親政（左）清定（右）色法
了也

名部（色）之

何（左）親政（右）妻（左）色法（右）
清定（左）永吉（右）色法（左）

但妻（左）色法（右）色法（左）
親政（右）色法（左）色法（右）
色法（左）永吉（右）色法（左）
色法（右）永吉（左）色法（右）

色法（色）之
及親政（色）之

名部（色）之

但妻（色）之

妻（色）之

七

西（色）之
及親政（色）之

一 家系之流名法名之區別

安永九年七月御代傳名之流名之區別

一 御代傳名之流名之區別

御代傳名

御代傳名之流名之區別

御代傳名

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 書代書子

安永二三年六月六日

御代傳名之流名之區別

御代傳名之流名之區別

御代傳名之流名之區別

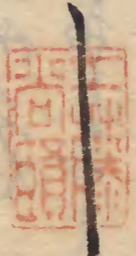
御代傳名之流名之區別

御代傳名之流名之區別



真品白河臣

正小藤尚賢画



庚午新得



先哲口授

而審やうらのこの目を陽々輝出

解し初きもの其名をわきまのつを
そつたよ深き〜並ては老ふぞし

下糸をさす年〜あふと糸もつたよ
糸えん〜糸ももの糸はよ此はよを

睡眠〜る〜今〜次強研ハ勿海之
糸の〜糸〜鏡をせを〜を

尚賢徳

